

6 振り返りの充実

「まとめ」と「振り返り」を区別し、効果的に振り返りを行うことで、児童生徒の「主体性」、「学びの調整力」を育成しましょう。

1 「振り返り」の目的

「振り返り」は、児童生徒が自分の学び方や考え方のスキル（学習方略）を身につけたり、自分の学習状況を俯瞰的に捉えたり、自分の興味や得意・苦手等を認識したりして、今後の学び方や、学びの方向を決めることができるようになるための活動です。「振り返り」を効果的に実施し、「**自分の力で上手に学びを進めていく力**」（「主体性」+「学びの調整力」）を育成しましょう。

2 「振り返り」と「まとめ」

振り返り…学び方・考え方の確認
＝「**どのように**」学んだか/考えたか

授業や単元を通し、学び方・考え方の変容や自分の学習状況、今後の展望、既習事項や実生活との関連、興味関心等を認識するための活動。

まとめ…学んだ対象の確認
＝「**何を**」学んだか

本時のねらい（課題）に正対し、学習内容を確認する活動。児童生徒の発言や意見を効果的に取り入れられるとよい。

3 児童生徒の「振り返り」からの評価

次の時間は、自分の好きな教科について、しっかり友達に伝えて、一緒に夢の時間割を作りたい。
そのために、もっと単語を覚えたい。



本時に学習したことを次の時間にどう生かすかという**見通しを持って学習できている**ね！また、次の授業の活動への**主体性を見取る**ことができるよ。

最初は課題の解決方法がわからなかったけど、友達と意見交換をする中で、よい考えが浮かんで、やってみたらうまくいきました。



「最初はわからなかったが、友達との意見交換を通して解決できた」という記述から**協働して考えを深めたこと**や学習に**粘り強く取り組んだこと**がわかるね！

今日の授業は、本時の目標を意識して1時間頑張りました。少し難しい問題でも、基本に戻って考えれば、うまくいくことがわかりました。



「本時の目標を意識した」「基本に戻って考える」という記述から、**主体性を持ち、学びの調整を試みながら学習できた様子**を見取ることができるね！

- ・〇〇がわかった。／難しかった。
- ・問題が正解したのでよかった。よくできた。
- ・ゲームで勝って楽しかった。



「まとめ」と混同していたり、ただの感想になっていたりする振り返りが多いので注意！「なぜそう感じた？どのように？」という視点で、振り返らせよう！

4 「振り返り」上手の使えるフレーズ

大切な視点を児童生徒にも伝えよう！



（評価の視点の例）【主体性】

- ☐ 目標を意識して…
- ☐ 新しく疑問に思ったのは…
- ☐ よりよい課題解決のために…
- ☐ 次はもっと～してみたくなった。
- ☐ ～を自分で調べてみたい。

【学びの調整力】

- ☐ 授業の最初は～と思ったけど…
- ☐ 〇〇さんの発表を聞いて…
- ☐ 前に学習した～をうまく使えば…
- ☐ ～を工夫してやってみたら…
- ☐ ～と考えたら、うまくいった。

【思考の整理】【粘り強さ】

- ☐ この考え方は～にも生かせる。
- ☐ ～とは～が違うけど、～は同じで…
- ☐ ～との関連があると思う。
- ☐ 最後までよく考えてみたら…
- ☐ ～が苦手なので、自主学習で…

